
愛知医科大学医学部

年次報告書

2022(令和4)年度



愛知医科大学 医学部

医学教育分野別評価 愛知医科大学医学部医学科 年次報告書

2022 年度

医学教育分野別評価の受審 2019（令和元）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.31

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.34

はじめに

本学医学部医学科は、2019 年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2020 年 6 月 1 日より 7 年間の認定期間が開始した。

医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.34 を踏まえ、2021 年度の年次報告書を提出する。なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日を対象としている。

1. 使命と学修成果

1.1 使命

基本的水準：適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 建学の精神を使命として定めている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ なし

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

質的向上のための水準：適合…指摘事項等無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

1.2 大学の自律性および教育・研究の自由

基本的水準：適合…指摘事項等なし

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学生代表がカリキュラム検討部門に参加して教職員と自由に意見交換を行っている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターに設置していたカリキュラム評価部門は、2021 年度に独立した教育プログラム評価委員会として改組し、委員会を開催した。(資料 1, 2)

改善状況を示す根拠資料

資料 1：愛知医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

1.3 学修成果

基本的水準: 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 2016 年度に策定した卒業時のコンピテンス、コンピテンシーを達成するためのマイルストーンを 2018 年度に策定している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ コンピテンス、コンピテンシー達成度調査のため、引き続き医学部 IR 室にてアンケート調査を行った。2 学年次終了時、4 学年次臨床実習前のマイルストーン達成度も引き続き調査した。(資料 3, 4)

改善状況を示す根拠資料

資料 3: 2020 年度卒業予定者アンケート (コンピテンス、コンピテンシー調査)

資料 4: 2020 年度卒業時コンピテンシー、マイルストーン調査

質的向上のための水準: 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 卒後研修終了時の学修成果を明確にし、卒業時の学修成果と関連づけて教育を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 卒後臨床研修センター教員が、より多くの医学教育に係る各種委員会に参画するよう、引き続き検討していく。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

1.4 使命と成果策定への参画

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 今後、使命と学修成果を見直す際には、教員だけでなく、学生、職員も参画すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年度に医学教育センターからカリキュラム評価部門を独立させ、教育プログラム評価委員会を設置した。同委員会には学生、学外有識者も参画している。今後、学修成果やコンピテンス、コンピテンシーとの整合性等の検討を開始する。(資料 1)

改善状況を示す根拠資料

資料 1：愛知医科大学医学部教育プログラム評価委員会規程

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 今後、使命と学修成果を見直す際には、他の医療職、患者など、より広い範囲の教育関係者の参加が望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室と協働して、今後、教育プログラム評価委員会に広い教育関係者からの評価を集約することを検討する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

2. 教育プログラム

2.1 プログラムの構成

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学生の学修意欲を刺激する目的で、問題基盤型グループ学修など多様な教育・学修方法を推進していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ対面型教育活動を拡大した。また、これまで行ってきた Zoom を用いた遠隔授業や Zoom での小テストを併せて継続した(資料5)。

改善状況を示す根拠資料

資料5：遠隔講義（ハイブリッド等）実施の通知文

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次から 4 学年次にかけて、「早期体験実習」、「行動科学」、「プロフェッショナルリズム」、「地域包括ケア実習」、「コミュニケーション実習」などを組み合わせ、生涯学習につながる教育を体系的に行っていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ 生涯学習につながる学修態度の向上に資するために 2018 年度から導入された e ポートフォリオを有効に活用することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 教員 FD の振返りとして教員用 e ポートフォリオへの記載を促した。今後も同様に、まずは教員の e ポートフォリオ使用経験を積み重ね、有効な教育活用に繋げる予定である(資料6)。

改善状況を示す根拠資料

資料6：2021 年度医学部第 1 回 FD 開催案内

2.2 科学的方法

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次の「初年次医科学セミナー」、3 学年次の「基礎医学セミナー」などにより、科学的手法の原理、医学研究の手法が教育されている。
- ・ 臨床実習の現場で ICT が活用され、EBM を実践していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、「基礎医学セミナー」は ICT を利用したハイブリッド形式で実施した。
- ・ Up to Date の学生利用は増加している。引き続きこれらを通じて自ら発掘し学修に生かすよう促す予定である(資料 7)。

改善状況を示す根拠資料

資料 7： Up to Date へのアクセス実績

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1～3 学年次の「選択講座」で、基礎科学、基礎医学の講座を中心に先端的な研究を学ぶ機会を設けていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 選択講座について、1 講座の開講枠を 5 コマから 3 コマに変更したため、教員がより自由な発想で選択講座の開講が可能になった(資料 8)。

改善状況を示す根拠資料

資料 8： 2021 年度選択講座一覧

2.3 基礎医学

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策としてより積極的な ICT 利用を学内周知した結果、講義資料提示や小テスト実施などでの AIDLE-K 活用が促進した。その結果、講義時の印刷紙媒体の配付が不要になりつつある。
- ・ 統合講義「腫瘍学」、「炎症学」を引き続き開講した。
- ・ 「薬理学ロールプレイ」を他大学と共同で実施し、その経験を学会で共有している(資料 9)。

改善状況を示す根拠資料

資料 9：薬理学会シンポジウム

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、基礎医学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 臨床医学講義枠の一部に基礎医学教員が参画した「ジョイントセッション (JS)」を開始した。これにより基礎医学・臨床医学の統合化の促進を図った(資料 10)。

改善状況を示す根拠資料

資料 10：2021 年度教科案内

2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 「行動科学」、「プロフェッショナリズム」、地域医療等と連携した「地域社会医学実習」などを体系的に構築していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 「行動科学 1b」、「プロフェッショナリズム 1a」、「地域社会医学実習」を引き続き継続した(資料 10)。

改善状況を示す根拠資料

資料 10：2021 年度教科案内

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 引き続き検討する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

2.5 臨床医学と技能

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 4 学年次から 5 学年次にかけての 40 週の「クリニカル・クラークシップ A」と 5 学年次から 6 学年次にかけての 28 週の「クリニカル・クラークシップ 2」と段階的に患者診療への参加度をあげるプログラムを実践している。

改善のための助言

- ・ 全学生に重要な診療科で十分な臨床実習時間を確保すべきである。
- ・ 全学生が臨床実習の中で健康増進と予防医学の体験をすることができるよう工夫すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 臨床推論の能力向上を目指して、クリニカル・クラークシップ B において科別 OSCE を開始した(資料 11, 12)。
- ・ 2021 年度のメディカルセンター開院に伴い、2022 年度から地域医療教育を目的としたクリニカル・クラークシップをメディカルセンターで行うよう計画している。

改善状況を示す根拠資料

資料 11：2020-2021 年度クリニカル・クラークシップの手引き

資料 12：科別 OSCE シナリオ

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次から 6 学年次にかけて、計画的に患者と接する教育プログラムが実施されている。

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、臨床医学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ コロナ禍のため学外の介護施設などでの現場体験は充分実施できなかった。そのため一部は代替講義等により対応した(資料 10)。
- ・ 多職種連携演習は感染症対策を行った上で、実施した。

改善状況を示す根拠資料

資料 10：2021 年度教科案内

2.6 プログラムの構造、構成と教育期間

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 水平垂直統合講義として開講されている「統合講義（腫瘍学、炎症学）」は、基礎医学、臨床医学講座が協力して実施されている。

改善のための示唆

- ・ 臨床医学において、現在は診療科別科目授業となっているが、今後水平的統合教育を推進することが望まれる。
- ・ 腫瘍学、炎症学の学修効果を評価したうえで、基礎・社会医学と臨床医学を統合した科目を広く導入することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 臨床医学科目における水平垂直統合講義「ジョイントセッション（JS）」を開始した（資料 10）。

改善状況を示す根拠資料

資料 10：2021 年度教科案内

2.7 プログラム管理

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ カリキュラム検討部門に他の医療職、患者代表など、広い範囲の教育の関係者を含むことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ カリキュラム検討部門に他の医療職や患者代表の参加を引き続き検討している(資料 13, 14)。

改善状況を示す根拠資料

資料 13：2021 年度医学教育センターカリキュラム検討部門員名簿

資料 14：2021 年度カリキュラム検討部門学生委員名簿

2.8 臨床実践と医療制度の連携

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 卒業生が将来働く環境からの情報を得て、教育プログラムを適切に改良することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室による各種アンケート調査を継続的に行い、教務委員会等にフィードバックした(資料 15)。

改善状況を示す根拠資料

資料 15 : 2021 年度卒業生アンケート (研修医)

3. 学生の評価

3.1 評価方法

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 知識、技能および態度を含む評価を確実に実施すべきである。
- ・ 進級判定や卒業判定に関して利益相反の規定を作るべきである。
- ・ 評価が外部の専門家によって精密に吟味されるべきである。
- ・ 評価結果に対して疑義申し立て制度を設けるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ クリニカル・クラークシップの評価結果をより迅速にフィードバックするための新しいシステムを 2022 年度導入に向け準備した(資料 16)。
- ・ 利益相反の規定作成について、今後、教務委員会にて検討を開始する予定である。
- ・ クリニカル・クラークシップ B において多職種評価を既に実施している。
- ・ 疑義申し立て制度について、今後、教務委員会で検討を開始する予定である。

改善状況を示す根拠資料

資料 16 : F.CESS 紹介資料

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 評価方法の信頼性と妥当性を検証することが望まれる。
- ・ 外部評価者の活用を進めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2019 年に GPA 制度による評価を開始した。医学部 IR 室にて引き続き、GPA 制度による学生評価の妥当性についての資料データの蓄積を行っている(資料 17)。

改善状況を示す根拠資料

資料 17：進級判定資料

3.2 評価と学修との関連

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 学修成果を学生が達成していることを確実に評価すべきである。
- ・ 形成的評価と総括的評価の適切な比重により、学生の学修と教育進度の判定の指針となる評価を行うべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2・4 学年次のマイルストーンと卒業時のコンピテンス、コンピテンシー達成度に関する自己評価調査を継続的に行っている。医学部 IR 室で調査結果を分析し、教務委員会にフィードバックした(資料 3)。
- ・ 2019 年 9 月から新たに導入した学務情報システムを用いて成績一覧表のフォーマットを改訂した。それにより 1 学年次からの成績を指導教員が確認できるようにした(資料 18)。
- ・ 2021 年度医学教育者のためのワークショップにおいて、評価法に関して議論した(資料 19)。
- ・ 成績不振の学生について、その原因を明らかにするために医学部 IR 室が情報収集と解析を継続している。

改善状況を示す根拠資料

資料 3：2020 年度卒業予定者アンケート（コンピテンス、コンピテンシー調査）

資料 18：2021 年度 4 学年次成績一覧表（指導教員用）

資料 19：2021 年度医学教育者のためのワークショップ日程表

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 基本的知識の修得と統合的学修を促進するために、カリキュラム単位ごとに試験の回数
- ・ と方法を適切に定めることが望まれる。
- ・ 学生に対して、評価結果に基づいた時機を得た、具体的、建設的、そして公正なフィードバックを行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターおよび教務委員会での検討を踏まえ、評価方法や試験回数の見直しを行った(資料 20)。
- ・ クリニカル・クラークシップに臨床支援実習システム (F.CESS)を導入した。当該システムにより、今後はより多くの教員からの評価が可能になるとともに、リアルタイムに学生へのフィードバックが可能となった(資料 16)。
- ・ 一部の科目について、試験問題の開示を始めた。

改善状況を示す根拠資料

資料 16 : F.CESS 紹介資料

資料 20 : 2021 年度教科案内作成方法に関する FD

4. 学生

4.1 入学方針と入学選抜

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 多様な入学者選抜方法で学生を受け入れていることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部入学試験委員会において、医学部 IR 室による入学試験成績（入試区分・科目ごとの成績）の解析結果が報告された(資料 21, 22)。
- ・ 医学部入学試験委員会において、入学試験の成績および面接評価と入学後の成績との関連（特に低学年における留年）を検討した(資料 21, 22)。
- ・ 2021 年度医学部一般選抜（2020 年度実施）において、新型コロナウイルス感染者およびその疑いのあった受験生 2 名に対して追試験を実施した。

改善状況を示す根拠資料

資料 21：2021 年度第 3 度回医学部入学試験委員会議事録（IR 室：入試成績解析）

資料 22：2021 年度第 4 度回医学部入学試験委員会議事録（IR 室：留年検討）

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 入学決定に対する疑義申し立て制度を明記することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、入学試験成績開示希望者に対して成績開示を行った(資料 23)。
- ・ 昨年度に引き続き、他大学の疑義申し立て制度について情報収集を継続している。

改善状況を示す根拠資料

資料 23：2021 年度第 2 度回医学部入学試験委員会議事録（成績開示）

4.2 学生の受け入れ…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2019年から2021年まで、学生1人あたり約0.86人の教員を配置している(資料24, 25)。

年	医学部学生数	教職員数	内看護学部	差引教員数	学生一人当たり
2019	709	659	43	616	0.869
2020	718	658	43	615	0.857
2021	719	665	47	618	0.860

改善状況を示す根拠資料

資料 24 : 大学要覧 2020

資料 25 : 大学要覧 2021

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部入学試験委員会において、地域枠定員について今後の方向性を検討した。
- ・ 2021年度入試においても引き続き国際バカロレア選抜入試を行った(資料26)。

改善状況を示す根拠資料

資料 26 : 2021年度学生募集ガイド

4.3 学生のカウンセリングと支援…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 指導教員制度から指導講座制度へと発展的に移行するための議論を、学生生活委員会でを行った(資料 27) (資料 28)。
- ・ コロナ禍での経済的支援・減免制度を継続して実行した(資料 29)。
2021 年度(一人当たり 90 万円) 2 名
- ・ 学生相談室では、オンラインによる学生カウンセリングを実施した(資料 30)。
- ・ 学生の意見を収集するために Web 上に学生意見箱(電子目安箱)を設置した。
- ・ 保健管理センターでは、引き続き学生の身体的不調に対する対応を行った(資料 31)。

改善状況を示す根拠資料

資料 27:「講座等による学生指導体制について」医学部教授会申合せ

資料 28: 令和 3 年度第 5 回学生生活委員会議事録

資料 29:「新型コロナウイルス感染拡大に伴う授業料減免の申請について」(2021 年度)

資料 30: カウンセリング 学生相談の統計及び主訴

資料 31: 保健管理センター利用者状況(2021 年度)

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センター学修支援部門において、コロナ禍で中断していた成績不振学生に対する学修支援を再開した(資料 32)。
- ・ 学生生活委員会において、2022 年度導入予定の指導講座制度を活用した課外研究活動

指導の可能性について議論した(資料 33)。

- ・ 2019 年 9 月から導入した学務情報システムにより、学生の成績が指導教員に通知されるようになった。これにより、随時学生指導に活用できるようになった。

改善状況を示す根拠資料

資料 32：学修支援通知文

資料 33：令和 3 年度第 6 回学生生活委員会議事録

4.4 学生の参加

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 使命を見直す際には学生代表を参加させるべきである。
- ・ カリキュラム評価部門会議や学生生活委員会に学生代表を参加させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ カリキュラム評価部門は教育プログラム評価委員会として独立し改組された。同委員会では各学年の学生代表が参加し、意見交換を行った(資料 2, 34)。
- ・ 新型コロナウイルス対策委員会に学生代表が参加し、意見交換を行った。
- ・ 医大祭実行委員(学生)と学生生活委員(教員)が医大祭(愛知医科大学大学祭)実施について検討した(資料 35)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

資料 34：医学部教育プログラム評価委員会委員及び学生名簿

資料 35：医大祭打ち合せ議事録(2021 年度)

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 愛知医科大学 Medical Science Club の学生が主体となり、解剖学教科書「骨学のすゝめ」(南江堂)を執筆し出版した(資料 36)。
- ・ 医学英語教育学会学会誌「Journal of Medical English Education」に、学生が筆頭著者の英文論文が掲載された(資料 37)。
- ・ 解剖学学術誌「Anatomical Science International」に、学生が筆頭著者の英文症例報告が掲載された(資料 38)。
- ・ 国際的症例報告コレクション「BMJ case report」に、学生が筆頭著者の英文症例報告が掲載された(資料 39)。
- ・ 医療ケアを必要とする子どもと家族向けのイベント「第 8 回もーやっこジュニアの広場」(瀬戸旭医師会主催)に、学生ボランティアサークル HIAMU がオンラインで紙芝居等を行った(資料 40)。
- ・ 働き方改革によるタスクシフトを推進するための夜間看護補助業務アルバイト「愛 Crew」に本学の医学生・看護学生が参加し活躍した(資料 41)。

改善状況を示す根拠資料

資料 36：学生の表彰について（医学部医学生の視点による教科書「骨学のすゝめ」上梓）

資料 37：学生の表彰について（Journal of Medical English Education に英文論文アクセプト）

資料 38：学生の表彰について（Anatomical Science International に英文 CASE REPORT 採択）

資料 39：学生の表彰について（BMJ case report への症例報告採択）

資料 40：学生ボランティアサークル「HIAMU」活動内容

資料 41：学生看護業務支援チーム「愛 Crew」活動内容

5. 教員

5.1 募集と選抜方針

基本的水準:部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 適切にカリキュラムを実施するために教員の募集と選抜の方針を定め、履行すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 他大学での行動科学に関する教育内容と専任教員の配置状況について、調査を検討する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

質的向上のための水準: 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 若年人口が多いなどの地域に固有な問題に対処するために、診療科の充実を行っている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 地域の二次救急医療体制の安定化のため、本学での救急医学教育の更なる充実が求められている。そのため救急医学領域の教員の募集、採用を推進する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

5.2 教員の活動と能力開発

基本的水準: 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 「選択講座」や「基礎医学セミナー」などにおいて教員の研究活動が学生の教育に活用されている。
- ・ 多様なテーマでFDが開催され、研修、能力開発支援に活かされている。
- ・ 教員の教育・研究活動に対し、大学が財政的支援を行う方針が策定され、履行されている。
- ・ 大学保育所の充実や臨床系女性教員の特別短時間勤務を設けるなど、女性教員のキャリア支援や男女共同参画推進に取り組んでいることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2020年度設置したダイバーシティ推進委員会の活動を、引き続き継続した(資料42)。

改善状況を示す根拠資料

資料42：2021年度第1回ダイバーシティ推進委員会議事録

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ クリニカル・クラークシップは学生3名に対し教員1名以上が指導している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

なし

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

6. 教育資源

6.1 施設・設備

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 図書室、マルチメディア教室、シミュレーション教育施設等を含め、カリキュラムが適切に実施され、保障されるだけの十分な施設・設備が整備されている。
- ・ 4～5 学年次（セミナー室）と 6 学年次（医心館）の専用自習スペースが整備され、活用されていることは高く評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ シミュレーションセンターでは、心臓病患者シミュレータや呼吸音聴診シミュレータ等を順次更新した(資料 43)。
- ・ 講義室では、遠隔講義に対応したマイクやカメラを整備した。また、講義室の座席カバーを新調した。
- ・ 基礎医学実習室では、AV 機器の更新や壁・天井の塗装工事を行った。また感染症医療人材養成事業の支援を受けて、シミュレーションセンターへの統合型 AV 機器システム導入を行った。

改善状況を示す根拠資料

資料 43：シミュレーションセンター機器一覧

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 創立 40 周年記念事業としてのキャンパス整備が 2018 年に完了しており、新病院建設事業も実現している。
- ・ 2016 年度にキャンパスマスタープランを策定し、それに沿った整備計画が遂行されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年 4 月に愛知医科大学メディカルセンター（愛知県岡崎市）を本学分院として開院した。今後メディカルセンターを、高齢社会が求める医療と医療人の教育・養成を实践する場として活用することを検討する（資料 44）。
- ・ 出席管理システムサーバーと各講義室のカードリーダーを更新し、顔認証や Web による出席確認を行えるよう利便化した。

改善状況を示す根拠資料

資料 44：愛知医大メディカルセンター概要

(<https://www.aichi-med-u.ac.jp/medicalcenter/index.html>)

6.2 臨床実習の資源

基本的水準：適合

特記すべき良い点（特色）

- ・ 大学病院と、80 か所近い学外の実習協力病院が、学生の臨床経験の場として確保されている。
- ・ シミュレーションセンターが整備され、専任教員が配置されており、学生の技能訓練の場として随時機能している。
- ・ 医学教育センターの主導により「医学教育担当教員連絡会」が毎月開催され、臨床実習指導者の情報交換や FD の場として機能していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年 4 月に愛知医科大学メディカルセンター（愛知県岡崎市）を本学分院として開院した。今後メディカルセンターを、高齢社会が求める医療と医療人の教育・養成を实践する場として活用することを検討する（資料 44）。

改善状況を示す根拠資料

資料 44：愛知医大メディカルセンター概要

(<https://www.aichi-med-u.ac.jp/medicalcenter/index.html>)

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 学外実習報告会を開催し、引き続き臨床実習先と意見交換を行った(資料 45)。
- ・ クリニカル・クラークシップ A 地域医療、地域医療早期体験実習では、それぞれ報告書を作成し、学生の実習体験を共有した(資料 46, 47)。

改善状況を示す根拠資料

資料 45：2021 年度学外実習報告会_式次第

資料 46：2020-2021 クリニカル・クラークシップ A 地域医療報告書

資料 47：2021 地域医療早期体験実習報告書

6.3 情報通信技術

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2022 年度に向けて、情報インフラを強化することを計画している。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学内 LAN やマルチメディア教室などが整備され、授業支援システム「AIDLE-K」や自習用 e ラーニングコンテンツが提供されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ Zoom を利用した遠隔講義を 2021 年度も継続して行った。
- ・ AIDLE-K のバージョンアップに伴い説明会を行った(資料 48)。

改善状況を示す根拠資料

資料 48 : e ラーニングシステム (AIDLE-K)利用説明会開催案内

6.4 医学研究と学識・・・指摘事項無し

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 「基礎医学セミナー」では、2020 年度から希望学生に対する夏季休暇期間中の研究室配属を考慮していたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため十分な実施は出来なかった(資料 49)。
- ・ 「新入生研修」において、基礎医学部門の教員と研究体験を共有した(資料 50)。
- ・ 「選択講座」において、学内教員の研究留学の経験を共有した(資料 8)。

改善状況を示す根拠資料

資料 8 : 2021 年度選択講座一覧

資料 49 : 基礎医学セミナー日程表

資料 50 : 2021 年度新入生研修日程表

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 学生が医学研究に参加しやすするため、2022年度に指導教員制度を指導講座制度に変更することを検討した(資料33)。

改善状況を示す根拠資料

資料33：令和3年度第6回学生生活委員会議事録

6.5 教育専門家

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 医学教育センターの教員など、必要に応じて教育専門家にアクセスできる。
- ・ カリキュラム開発、教育技法および評価方法の開発、FDなどにおいて、教育専門家を利用するための組織や体制が整っている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021年度に新たな教員が医学教育センターに配属された(資料51)。
- ・ 2021年度も引き続き学外講師を招いた医学教育者のためのワークショップを開催した(資料52)。

改善状況を示す根拠資料

資料51：医学部教員名簿（令和4年3月1日現在）

資料52：ワークショップ学外講師依頼

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 教育専門家の活用状況については、広報誌やホームページ等を通じて学内外に示している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターの活動状況や医学教育の動向に関して、「医学教育センターニュース」として引き続き学内に配布した(資料 53)。
- ・ 医学教育センターの活動状況に関して、年次報告書として引き続き学内・学外に提示した(資料 54)。

改善状況を示す根拠資料

資料 53：2021 年度医学教育センターニュース第 1 号

資料 54：年次報告 2020

6.6 教育の交流

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 海外の教育機関との交流を促進するための協定締結が行われている。
- ・ 海外の教育機関への学生派遣や海外の教育機関からの学生の受入が継続的に行われている。
- ・ 多職種連携教育を通じて近隣の大学との協力関係が構築されている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ Erasmus+K107 Grant プログラムによるポーランドのウッチ医科大学への教員派遣及びウッチ医科大学教員の受け入れ事業は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった(資料 55)。
- ・ クリニカル・クラークシップ B の選択実習先となっている学術国際交流協定大学 5 大学(ポズナン医科大学、コンケン大学医学部、ルール大学医学部、ウッチ医科大学医学部、バーモント大学医学部)への派遣は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。その代替として、レスター大学医学部とオンライン講習会を実施した(資料 56)。

改善状況を示す根拠資料

資料 55：教授会資料「ウッチ医科大学との Erasmus+K107 Grant 20192020 プログラムによる教員派遣及び教員受入の中止について」

資料 56：令和 3 年度医学部国際交流プログラム実施計画(案)

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 教職員や学生の海外研修時の経済的補助や、海外からの留学生に対する宿泊施設の無償提供など、適切な資源が提供されていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ ハワイ医学教育プログラム（Hawaii Medical Education Program）への参加計画を検討した(資料 57)。

改善状況を示す根拠資料

資料 57：教授会資料「ハワイ医学教育プログラム（HMEP）概要」

7. 教育プログラム評価

7.1 教育プログラムのモニタと評価

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ プログラム改善のために定期的かつ統轄的に教学に関するデータを収集・解析すべきである。
- ・ プログラム評価を実質的に行い、その評価の結果をカリキュラムに確実に反映すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年に医学教育センターから独立した教育プログラム評価委員会を開催した(資料 2)。
- ・ 新型コロナウイルス対策委員会では、各学年代表が参加し議論を進めた。
- ・ 教学に関するデータ収集のために、AIDLE-K 利用による授業評価アンケートとデータのまとめを行った(資料 58)。
- ・ 医学部 IR 室にて、入試データ収集と学生指導に繋げるための調査を行った(資料 59) (資料 21)。
- ・ 医師国家試験対策強化委員会では、各教科の試験結果と国家試験合格状況との相関を引き続き検証した。さらに同委員会では、4～6 学年次生が参加のもと、次年度の国家試験対策プログラムの策定等を行った(資料 60)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2： 2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

資料 21： 2021 年度第 3 度回医学部入学試験委員会議事録（IR 室：入試成績解析）

資料 58： 2021 年度前期授業評価アンケート報告書

資料 59： 2021 年度第 2 度回医学部入学試験委員会議事録（IR 室への分析依頼）

資料 60： 2021 年度第 1 回医師国家試験対策強化委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ カリキュラムの特定の構成要素、長期間で獲得できる学修成果および社会的責任について包括的に評価することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 愛知医科大学同窓会（愛橘会）と情報共有する仕組みづくりを検討する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

7.2 教員と学生からのフィードバック

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ カリキュラム全体に関する学生からの意見を系統的に収集し、分析して、対応すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 教育プログラム評価委員会は、学生の参加を得て開催した。今後、当該委員会から医学教育センターカリキュラム検討部門や教務委員会等へのフィードバックをさらに強化する(資料 2)。
- ・ 医学教育センター臨床教育部門では、臨床支援実習システムを稼働させるなど改善を図り、学生への即時フィードバックの仕組み作りを行った(資料 61)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

資料 61：2021 年度第 13 回教務委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 教員や学生からプログラム評価のためのフィードバックを解析し、その結果を利用してプログラム開発を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センター臨床教育部門では、臨床実習支援システム (F.CESS)を用いてクリニカル・クラークシップにおける学生への即時フィードバックの仕組みを作った(資料 61)。
- ・ 医学教育センターでは、クリニカル・クラークシップにおける各診療科について、学生アンケートを実施し、コメントを各診療科へフィードバックした(資料 62)。

改善状況を示す根拠資料

資料 61：2021 年度第 13 回教務委員会議事録

資料 62：クリニカル・クラークシップ診療科へのフィードバック

7.3 学生と卒業生の実績

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 意図した学修成果について学生と卒業生の実績を客観的に分析すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室では 2017 年より卒業予定者アンケートを継続に実施している。その結果は教育プログラム評価委員会にて提示、提供共有を行うとともに、学内ホームページにも公開している(資料 2, 63, 64)。
- ・ 愛知医科大学同窓会(愛橘会)では在学生および卒業生の業績紹介や奨励賞授与などの顕彰活動を行い、その結果は愛橘会会報に掲載してきた。今後はこうした取り組みを、医学部 IR 室とも連携することを検討する(資料 15, 65)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

資料 15：2021 年度卒業生アンケート（研修医）

資料 63：2021 年度卒業予定者アンケート（コンピテンス、コンピテンシー調査）

資料 64：ホームページ：公開情報 (<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0206/index.html>)

資料 65：2021 年度愛橋会会報

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 学生の実績の分析を行い、責任がある委員会へフィードバックすることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室では、アンケート調査を主体とした各種調査を行っている。2021 年度医学教育センターから独立した教育プログラム評価委員会にフィードバックした(資料 2)。
- ・ 低学年時の留年生増加の状況などを受けて、医学部 IR 室による調査結果を医学部入学試験委員会へもフィードバックし、議論を開始した(資料 22)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

資料 22：2021 年度第 4 度回医学部入学試験委員会議事録（IR 室：留年検討）

7.4 教育の関係者の関与

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 医学教育センターカリキュラム評価部門に学生代表を参加させ、学生の意見をプログラム評価に反映させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年度に設置した教育プログラム評価委員会には、各学年 1～2 名の学生参加とと

もに、研修医も参加した。今後は定期的に同委員会を開催し、プログラム改善に反映させる(資料 2)。

改善状況を示す根拠資料

資料 2：2021 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 医学教育センターカリキュラム評価部門によるプログラム評価の結果を閲覧できるようにすることが望まれる。
- ・ 卒業生が将来働く環境からの卒業生の実績に対するフィードバックを得て、教育プログラムを適切に改良することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室では、卒業生が勤務する病院に対し卒業生評価に関するアンケートを実施した(資料 15)。しかしアンケート回収率や内容が十分ではなく、今後はアンケート内容や実施時期等を検討する(資料 66)。

改善状況を示す根拠資料

資料 15：2021 年度卒業生アンケート（研修医）

資料 66：2021 年度卒業生（研修医）アンケート（初期研修先病院に対するアンケート様式）

8. 統轄および管理運営

8.1 統轄

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021年4月に愛知医科大学分院として愛知医科大学メディカルセンターを開院した(資料44)。
- ・ 愛知医科大学医学部父兄後援会の名称変更について、検討を開始した。

改善状況を示す根拠資料

資料44：愛知医大メディカルセンター概要

(<https://www.aichi-med-u.ac.jp/medicalcenter/index.html>)

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 医学教育センターのカリキュラム検討部門とカリキュラム評価部門に父兄後援会・医学部同窓会の代表や他大学の医学教育専門家を加えている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターカリキュラム評価部門を独立させ、新に教育プログラム評価委員会を設置し、委員会を開催した(資料2)。

改善状況を示す根拠資料

資料2：2021年度第1回教育プログラム評価委員会 議事録

8.2 教学のリーダーシップ・・・指摘事項無し

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

8.3 教育予算と資源配分・・・指摘事項無し

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2021 年 4 月に開院した愛知医科大学メディカルセンターでのクリニカル・クラークシ
ップの実施を検討する。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

8.4 事務と運営…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

8.5 保健医療部門との交流

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 長久手市・尾張旭市・瀬戸市と包括連携協定を結び、公開講座・医療活動支援・事業企画（サイエンスカフェ）を行っている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 包括連携協定を結んでいる自治体（長久手市・尾張旭市・瀬戸市）それぞれとの共同開催による公開講座を引き続き実施した(資料 67)。
- ・ 質の高い医療人材育成を目的として、愛知学院大学と大学間連携に関する協定を締結した(資料 68)。

改善状況を示す根拠資料

資料 67：2021 年度愛知医科大学公開講座（各自治体連携事業）

資料 68：ホームページ：大学間連携事業

(<https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0223/index.html>)

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

9. 継続的改良

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 機関別認証評価と医学教育分野別評価を受け、組織と機能の改善や課題の修正に取り組んでいる。
- ・ 私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：教育の質的転換）に採択され、教育の特色化や機能強化に全学的に取り組んでいる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 私立大学等改革総合支援事業において、2019 年、2020 年に引き続き 2021 年度においても選定された(資料 69)。

改善状況を示す根拠資料

資料 69：ホームページ：お知らせ（令和 3 年度私立大学等改革総合支援事業選定）

質的向上のための水準：評価を実施せず